

2013年3月29日

大学院物理情報システム専修 学位授与式 式辞

物理情報システム専修
主任 足立修一

大学院博士前期課程修了，誠にめでたうございます。

満開の桜のもとでこの学位授与式を行うことができること，大変うれしく思います。物理情報システム専修主任として専修教員を代表して，みなさんに5分間だけご挨拶させていただきます。

ここにいるみなさんの大部分は，2007年4月に慶應義塾大学理工学部に入學されました。私が慶應に着任したのが2006年4月ですから，みなさんと私は慶應でのキャリアはほとんど変わらないこととなります。この6年間でみなさんは慶應の主のようになってしまったかもしれません。また，それだけ慶應の居心地がよかったのかもしれません。

そして，みなさんが慶應に在籍していた6年間に大きな出来事がいくつかありました。

まず，2008年9月15日に起こったリーマンショックです。これを境に世の中は一変しました。特に，この出来事はみなさんの就職活動に大きな影響を与えました。2000年ころの就職大氷河期を乗り越え，私が就職担当をしていた2006年～2008年にはたくさんの求人にあふれていました。しかし，リーマンショック以降，まさしくみなさんの同級生が学部で就活を行っていた時期は，またどん底の時代になってしまいました。

そして，2011年3月11日の東日本大震災です。みなさんの卒業式の2週間前でした。いまなお，多くのかたが避難生活を強いられ，甚大な被害をもたらした大災害でしたが，われわれ慶應もさまざまな打撃を受けました。なかでも，その年の卒業式，すなわちみなさんの卒業式を行うことができなかつたことは，私の教員生活の中で初めての異常な出来事でした。さらに，みなさんの大学院入学式も4月に行われずに，半年遅れの9月の暑い時期に行われました。

当時の主任であった伊藤教授が物理情報工学科だけでも卒業式を行おうと頑張りましたが，それもかたがたで避難生活を強いられ，甚大な被害をもたらした大災害でしたが，われわれ慶應もさまざまな打撃を受けました。なかでも，その年の卒業式，すなわちみなさんの卒業式を行うことができなかつたことは，私の教員生活の中で初めての異常な出来事でした。さらに，みなさんの大学院入学式も4月に行われずに，半年遅れの9月の暑い時期に行われました。

当時の主任であった伊藤教授が物理情報工学科だけでも卒業式を行おうと頑張りましたが，それもかたがたで避難生活を強いられ，甚大な被害をもたらした大災害でしたが，われわれ慶應もさまざまな打撃を受けました。なかでも，その年の卒業式，すなわちみなさんの卒業式を行うことができなかつたことは，私の教員生活の中で初めての異常な出来事でした。さらに，みなさんの大学院入学式も4月に行われずに，半年遅れの9月の暑い時期に行われました。

当時の主任であった伊藤教授が物理情報工学科だけでも卒業式を行おうと頑張りましたが，それもかたがたで避難生活を強いられ，甚大な被害をもたらした大災害でしたが，われわれ慶應もさまざまな打撃を受けました。なかでも，その年の卒業式，すなわちみなさんの卒業式を行うことができなかつたことは，私の教員生活の中で初めての異常な出来事でした。さらに，みなさんの大学院入学式も4月に行われずに，半年遅れの9月の暑い時期に行われました。

象に残る卒業式でした。しかし、計画停電の中、緊急地震速報がしばしばケータイから流れる中では、追いコンを行うことはできませんでした。

このような激動の6年間を送ってこられたみなさんが、6年間の集大成として、初めての卒業式（学位授与式）に臨めること、心からうれしく思います。
あらためておめでとうございます！

ぜひこの喜びをご両親やみなさんを支えてくださった方々に伝えてください。

さて、今日はみなさんにお話したいことが2つあります。

一つは修士課程に進学し、修了した意味です。

修士課程では、みなさんは専門分野について深く研究されたことと思います。それでは、企業は専門性の高さだけでみなさんの採用を決めたのでしょうか？ 答えは“No”です。みなさんが来週の月曜日（明々後日なのですね）から勤める会社で、研究室と同じ内容の研究や開発を行うことが保証されている人は、ほとんどいないはずですよ。むしろ違った分野を担当する人のほうが多いでしょう。幸いにして、同じようなテーマの研究が続けられる人も、企業では10年もたてば、違うことをしているでしょう。変化に対応できなければ企業はつぶれてしまうからです。

それでは、企業は修士修了のみなさんの何に期待しているのでしょうか？

私は2つあると思っています。

一つは、修士での研究活動を通して、与えられた問題を解くのではなく、自分で未解決の問題を発見し、その問題に対してどのようにアプローチしていったらよいか、という方法論を学んだみなさんに期待しているのです。試験範囲が決まっています、正解が必ず存在する定期試験を解けるだけの人より、さらに上位のレベルの人材としてみなさんは期待されているのです。

もう一つは、研究室において上級生として後輩を指導する能力の取得です。

学部卒業の同級生が下っ端として会社の中で暮らしていた2年間、みなさんは研究室の中では指導的な、神のような立場で、君臨していたと思います。研究室で後輩を指導していくなかで、さまざまなコミュニケーション能力を学んでいったことと思います。この経験が非常に重要なのです。学部卒と修士修了では、この20代前半の、人間として最も成長で

きる時期の 2 年間の過ごし方に大きな違いがあるのです。私は理論研究だから、一人で家でやっていたらよいのです、というような人材は企業では一般に望まれないのです。ここにいるみなさんは、研究室のリーダーとして、頑張ってくられたと思います。この経験は今後企業に入ってから、みなさんの貴重な財産になるでしょう。

もう一つ言いたいことは、慶應の同窓会、すなわち三田会の存在です。慶應にいるときには慶應の良さはあまりわからないと思いますが、外に出てみると慶應のすごさが見えてくるはずです。一番大きなことは、同窓生の結束の強さ、気持ち悪いくらいの仲の良さです。普通の国立大学ではちょっと考えられないことでしょう。たとえば、違う会社の人と話しているときにも、同じ慶応出身だとわかると、話が盛り上げることがよくあります。これは先輩たちが築いてきてくれた貴重な財産です。

今度は君たちが慶應 OB,OG, すなわち「塾員」となって、この良い伝統をさらに発展させる番です。

そして、慶応の大学院を修了したことに誇りをもって、日本でそして世界で活躍してください。

私が今日お話ししたかったことはこれで終わりです。

最後に、もう一度皆様のご卒業をお祝いいたします。
本日は大変おめでとございました。